地方独立行政法人

市立大津市民病院

市立大津市民病院
Otsu City Hospital

ごあいさつ

理事長
河内　明宏

平素より当院に対しましてひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。
平成29年4月に地方独立行政法人化した本院にとりまして、令和5年度は7年目の年度で、第2期の後半に入ります。
昨年度は皆様にご迷惑、ご心配をおかけいたしましたが、新たに70名の職員を迎え、“信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点”という病院理念のもと、全職員が一致団結して新しい年度をスタートしました。
今年度から市民や地域の病院・診療所の皆様との連携を円滑に行うために、従来の地域医療連携室、入退院センター、患者相談室、訪問看護ステーションを統合した地域医療連携支援センターを立ち上げました。
センター内の各部署の横のつながりを密にして、在宅、外来、入院の流れをスムーズにし、他の医療機関の皆様との連携もしっかりと行っていきたいと思います。
新しい診療体制としましては歯科口腔外科口腔腫瘍センター長として前滋賀医科大学教授山本学先生をお迎えし、口腔腫瘍や外傷などにも力を入れていきます。
また、女性医師による女性外来を乳腺外来、女性泌尿器科外来などから開始し、皆様に周知させていただき、どなたでもためらわずに受診できる体制を取って行きたいと思います。
5月からは新型コロナ感染症が感染症法の5類に変更されることにより新しい段階に入っていきますが、当院は県内唯一の第一種感染症指定病院として今後の状況の変化やさらに新しい感染症が生じた際の対処等に引き続き貢献してまいります。
今後も予測ができない事態が起こる可能性が十分ありますが、どのような状況においても市民や患者の皆様に信頼される病院として努力してまいりますので、今後とも変わらぬ温かいご支援を賜りますように、何卒よろしくお願い申し上げます。

とまらない救急

がんに強い病院

人材育成

病院理念

病院理念
「信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康・医療拠点」

基本方針
「市民の命を守る病院」
・市民に寄り添い、健康をサポートできる病院
・２４時間３６５日、常に安心して受診できる病院
・広域感染症発生時や大規模災害時などに対応できる病院

「地域医療を守る病院」
・患者とともにあり、患者を治し支える病院
・質の高い医療を提供し、地域のニーズに応える病院
・予防から緩和までがんに強い病院

看護局理念

専門的知識を深め、洗練された技術で、
患者さんの生きる力を引き出し、
寄り添い続ける看護を提供します

患者の権利綱領

市立大津市民病院の職員は、患者さまの次の権利を順守して日々の医療を行います

1．安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
2．個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
3．病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
4．十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
5．如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
6．希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
7．如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

地域連携

予防医療

公立病院としての使命

救急医療

“とまらない救急”で地域の中核病院として救急医療を支える

救急外来「ERおおつ」では、24時間365日“とまらない救急”を掲げ、患者さんの高齢化・重症化に伴い増大する救急需要に対し、救急専門医を中心に他科医師やICUと速やかに連携して、あらゆる疾患にフレキシブルに対応しています。さらに専門各科のオンコール体制で診療にあたっています。

また、患者さんが地域に戻っても治療が途切れないよう、地域医療機関と密なコミュニケーションを築き、引き継ぎを行っています。

感染症ＥＲを開設

2020年12月、感染症専用救急外来を設置

受付
受付をガラス張りにし
窓口用インターホンを設置

Ｘ線ＣＴ撮影装置
感染症ＥＲ専用の
Ｘ線ＣＴ装置

外部廊下
患者と医療従事者の動線を
完全に分離

床面の色分け
床面の色で汚染エリアと
非汚染エリアを区別

当院は、県内唯一の第一種感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れてきましたが、県内の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、診療体制の制限や救急外来の受け入れを制限せざるを得ない状況になり、「感染症ＥＲ」を開設いたしました。

がん診療

すべての領域の
すべてのステージの
がんに、一貫した
密度の高いがん診療を

健診センターでの早期発見から内視鏡および外科的手術治療、化学療法、放射線治療そして緩和ケアにいたるまで、シームレスで集学的ながん診療を提供しています。

手術では患者さんの負担が少ない鏡視下手術を得意としており、泌尿器科領域および消化器外科領域においては、内視鏡手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ®』によるロボット支援手術を実施し、多くの患者さんにその優れた成果を実感していただいています。

主な医療機器

内視鏡手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ®』

従来の腹腔鏡手術でみられた動作制限を克服し、さらに精密で体への負担が少ない手術が可能です。

放射線治療装置『リニアック』

がんに対して、放射線の種類や強さ、範囲などを変えて、正確にピンポイントで照射できます。

320列CT

2018年3月に導入した320列CTは、短時間で広範囲の撮影が可能で、寝台移動せず検査ができます。

3.0テスラ MRI

X線を使わず、強い磁力と電波を使って、高画質な身体の断層像を得ることができます。

地域連携

院内外の連携を深め
地域完結型医療の
推進を

本院では「かかりつけ医」登録制度を導入し、逆紹介を推進しています。近隣医療機関との連携をより一層深めて、今後も“顔の見える”病診・病病連携を進めてまいります。

また、地域医療連携室・入退院センターでは、看護師や医療ソーシャルワーカーなどの専門スタッフが、入退院に関連する医療的、社会的問題を外来受診時あるいは、入院初期など早期に把握し、円滑な入院から転院・退院を支援します。

予防医療

あなたと
あなたの大切な人の
健やかな
未来のために

病気の早期発見には定期的な健康診査が欠かせません。健診センターでは人間ドックをはじめ、各種検診や予防接種を行うとともに、禁煙外来も開設しています。また、難治性がんの代表とされる膵臓がんの発見に特化したコースなど、充実したメニューをご用意しています。

“市民とともにある健康・医療拠点”として、快適に安心して受診いただけるよう、さらなる充実に努めています。

人材育成

医療は人なり
病院は人なり
人は宝

医療は「人間力」なしでは成り立ちません。

『選ばれる病院』であり続けるために、“医療は人なり、病院は人なり、人は宝”をモットーに、若手医療スタッフが笑顔で輝ける病院づくりを進めています。

また、未来の医療を担う医療系大学や専門学校の学生の研修や実習も積極的に受け入れています。

公立病院の使命

“地域になくては
ならない病院”
として

2017年4月に地方独立行政法人として新たな一歩を踏み出しました。

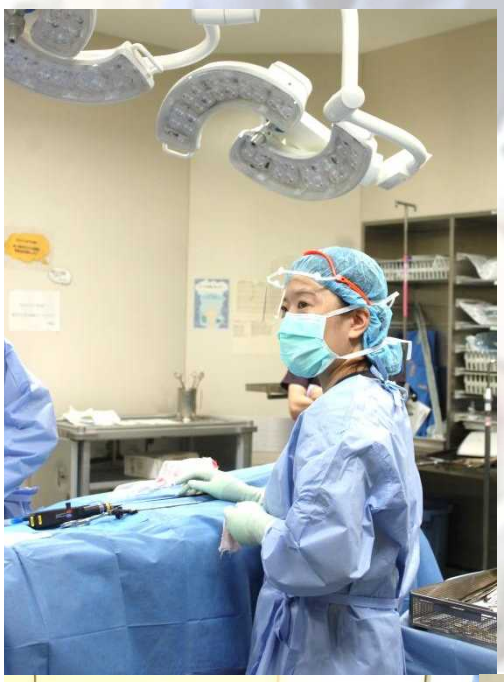
“市民とともにある健康・医療拠点”をさらにグレードアップし、これからも公立病院としての使命を果たし、地域の中核病院として「治し支える医療」の役割を先駆的に担い、地域医療を支えてまいります。

看　護　局

患者さんの生きる力を引き出し、寄り添い続ける看護を

『専門的知識を深め、洗練された技術で、患者さんの生きる力を引き出し、寄り添い続ける看護を提供します』を看護局理念に掲げ、専門性の高い看護と、退院後の患者さんの生活を重視したケアの提供ができるよう、看護職員一人ひとりがスキルの研鑽に励みながら、毎日明るく元気に看護に取り組んでいます。

専門・認定看護師　～看護のスペシャリスト～



市立大津市民病院では、患者さんやご家族の皆さんにより高度で専門的な看護を提供する知識や技術を深めた、看護のスペシャリストー専門看護師・認定看護師がそれぞれの専門性を活かしながら、活躍しています。

病院として資格取得に対する支援の充実を図り、より水準の高い看護を継続的に提供するための人材育成にも力を入れています。

患者中心の

Patient

医療技術局

確かな技術と専門知識で、医療の質と安全を支える

市立大津市民病院の医療技術局は、薬剤部・医薬品情報管理室、臨床検査部、放射線部、リハビリテーション部、臨床工学部、栄養部で構成されています。

患者さんに適切で安全・良質な医療を提供できるよう、それぞれの専門知識や技能を活かしながら、医師や看護師、事務スタッフなど多職種と連携しています。

各部門の紹介

薬剤部
医薬品情報管理室

臨床検査部

放射線部

リハビリテーション部

臨床工学部

血液浄化部

栄養部

真心の医療を

First

本院ならではのチーム医療の実践

多職種カンファレンス

病棟ラウンド

リハビリテーション

一類感染症
ワークショップ実地訓練

職種や組織の枠組みを超えて、多角的かつ横断的な視点から患者さんに最適な治療を検討し、多職種で協働して診療にあたります。
また、本院は滋賀県下で唯一の第一種感染症指定医療機関です。日常の感染対策活動に加え、一類および二類感染症患者の入院対応も行っています。

災害に強い病院－災害拠点病院－

DMATカー

東日本大震災救援活動

屋上ヘリポート

院内災害訓練

本院は災害拠点病院（地域災害医療センター）です。災害発生時には地域において中心的な役割を担うとともに、災害に備えて訓練や研修等を積極的に行い、常に体制強化を図っています。また、本院のDMATカーは災害現場活動に必要な資器材を装備・搭載しており、DMATの機動力向上、長時間活動への対応力強化、通信手段の確保による迅速で的確な情報収集が可能です。

地域、市民のための健康・医療拠点

夏休みわくわく
病院体験・探検

糖尿病110番

市立大津市民病院大学
（健康講座・公開講座）

看護の日イベント

本院は「地域に開かれた病院」として、病院からの一方通行の情報発信ではなく、市民あるいは地域の医療関係者の皆さんと“顔の見える双方向の交流”を図るため、様々な取り組みを行っています。
地域とヒト、ヒトとヒト、心と心、そして命をつなぐ－医療が持つ様々なものを“つなぐ”力を、次代を担う子どもたちに“つなぐ”ことが「みんなが幸せな街づくり」につながると考えています。
これからも「地域にあってよかった」、「地域になくてはならない」病院づくりを推進してまいります。

患者サポートと在宅医療への支援

患者相談支援室

ご相談者の気持ちに寄り添いながら、がんや様々な病気に関する不安や悩みのご相談に、看護師・心理カウンセラー（公認心理師）など専門スタッフが対応します。
また、がん関連の図書の閲覧など、がんに関する情報提供をはじめ、くつろぎながら資料など閲覧できる空間を提供するとともに、患者さん、ご家族の交流の場を提供しています。

訪問看護ステーション

医療的な管理を必要とされる方が、在宅においてもその医療を継続するため、主治医との連携のもと、看護師が計画的に訪問し、医療的管理やケアを行い、安心な在宅療養を支援させていただきます。
また、24時間緊急連絡対応により、夜間や休日の緊急訪問を行い、ご家族とともに住み慣れた地域の中で、最期までその人らしい療養ができるよう、在宅での看取りの支援も行っています。

主な施設・設備

患者さんが治療に専念できる快適な療養環境と、患者ニーズにハートフルな病院づくりを進めています。

特別室

個室

4床室

病棟デイルーム

2階総合案内

外来待合

その他

- コンビニエンスストア
- 入院用品セットレンタル（有料）
- ランドリーコーナー
- 自動精算機（クレジットカードまたは現金での診療費のお支払い）
- 授乳室
- 理容室

患者用Wi-Fi　救急外来「ERおおつ」や外来待合、病棟デイルームで、Wi-Fiが使用できます。
診察待ちWeb確認システム　お持ちの携帯電話やスマートフォンで、診察の進行状況が確認できます。

ボランティアとFISH活動

病院の花壇のお手入れや、院内で使用する縫製品の作成、駐車場でのご案内業務など、ボランティアさんが様々な場面で活躍されています。
また、不定期で、ボランティアさんや病院スタッフによるコンサートなども開催しています。

病院の概要

開　設　者　地方独立行政法人市立大津市民病院
開　設　日　2017年4月1日（1899年7月大津伝染病院開院）
理　事　長　河内　明宏
院　　長　日野　明彦
所　在　地　大津市本宮二丁目9番9号（〒520-0804）
施設の概要
敷地面積　34,107㎡
建物延床面積
・本館棟　31,579㎡　地上9階、地下1階、屋上ヘリポート（免震構造）
・別館棟　9,653㎡　地上5階、地下1階（消化器内視鏡センター、放射線治療棟含む）
・感染症ER　198㎡　地上1階
・管理棟　1,009㎡　地上3階
・附属棟　892㎡　地上3階
・駐車場　第1（211台）　第2（307台）
許可病床数　401床（2021年10月5日より）
一般病床　393床（緩和、難病、救急、ＩＣＵ　含む）　感染症病床　8床（1種2床、2種6床）
診　療　科　30診療科
内科　消化器内科　消化器外科　呼吸器内科　呼吸器外科　脳神経内科　循環器内科　心療内科　精神科
小児科　外科　整形外科　脳神経外科　心臓血管外科　リハビリテーション科　産婦人科　眼科　耳鼻咽喉科
泌尿器科　皮膚科　歯科　矯正歯科　歯科口腔外科　放射線科　麻酔科　形成外科　病理診断科　乳腺外科
救急科　緩和ケア内科
入院基本料　一般病棟　7対1
専門看護師　がん看護
認定看護師　皮膚・排泄ケア　緩和ケア　感染管理　救急看護　がん化学療法看護
糖尿病看護　慢性心不全看護　認知症ケア　摂取嚥下障害看護

施設認定

地域災害拠点病院(地域災害医療センター)
地域医療支援病院
救急告示病院
第一種感染症指定医療機関
第二種感染症指定医療機関
滋賀県地域がん診療連携支援病院
難病診療分野別拠点病院
身体障害福祉法に基づく指定医療機関
指定小児慢性特定疾病医療機関
指定自立支援医療機関（育成・更正医療・精神通院治療）
人工透析実施医療機関病院機能評価3rdG:Ver.1.1認定取得病院
臨床研修指定病院(医科・歯科)

主な学会指導施設認定

日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本血液学会血液研修施設
日本糖尿病学会認定教育施設
日本病態栄養学会認定病態栄養専門医研修認定施設
日本腎臓学会研修施設
日本透析医学会専門医制度認定施設
日本消化器内視鏡学会認定指導施設
日本消化器病学会認定施設
日本肝臓学会認定施設
日本呼吸器学会認定施設
日本神経学会教育施設
日本臨床神経生理学会認定施設
日本認知症学会教育施設認定
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション研修施設
日本精神神経学会精神科専門医研修施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本食道学会全国登録認定施設
日本整形外科学会専門医制度研修施設
日本手外科学会認定研修施設
呼吸器外科専門医合同委員会認定基幹施設
日本呼吸器内視鏡学会認定施設
三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定関連施設
下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術実施基準における実施施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設拠点教育施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本口腔外科学会専門医制度認定研修施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本病理学会研修登録施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本緩和医療学会認定研修施設
日本医療薬学会認定薬剤師制度研修施設
日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設
日本臨床衛生検査技師会精度保証施設
マンモグラフィ検診施設
日本臨床栄養代謝(旧:静脈経腸栄養)学会NST稼動施設
日本栄養療法推進協議会NST稼動施設
日本アレルギー学会認定教育施設
病院総合医プログラム育成認定施設
大腸CT検査技術認定施設
地域薬学ケア専門薬剤師研修施設
麻酔科専門研修プログラム
日本集中治療医学会専門医研修施設
日本膵臓学会認定指導施設
2022年度NCD施設会員登録証(外科領域)
母体保護法設備指定証

（2022年4月現在）

病院の沿革

明治32年（1899年）	大津伝染病院開院
昭和12年（1937年） 4月	大津回生病院が1市2箇村組合立伝染病院（大津市・雄琴村・坂本村・下阪本村）として膳所錦町字打明に開設
昭和39年（1964年） 1月	現在地に移転、大津市民病院に改称
昭和39年（1964年） 4月	救急告示病院指定
昭和53年（1978年） 7月	新館棟（現在の別館棟）竣工
昭和54年（1979年） 3月	管理棟増築
昭和58年（1983年） 5月	付属棟増築
平成 9年（1997年） 1月	災害拠点病院指定
平成 9年（1997年） 4月	訪問看護ステーション開設（市から病院へ所管替え）
平成11年（1999年） 4月	本館棟竣工（地下1階、地上9階建て免震構造、屋上ヘリポート設置）、臨床研修指定病院（医科・歯科）指定
平成13年（2001年） 4月	滋賀県難病医療拠点病院指定
平成15年（2003年） 4月	ERおおつ開設
平成15年（2003年） 6月	地域医療支援病院承認
平成19年（2007年） 8月	7対1入院基本料算定開始
平成21年（2009年） 4月	DPC対象病院に移行
平成22年（2010年） 8月	消化器内視鏡センター開設
平成22年（2010年）10月	滋賀県地域がん診療連携支援病院指定
平成23年（2011年） 4月	臨床研修センター開設
平成23年（2011年）10月	院内助産所開設
平成23年（2011年）11月	健診センターリニューアルオープン
平成24年（2012年） 6月	病院機能評価認定取得（Ver.6.0）
平成25年（2013年） 4月	患者総合支援センター設置 一般社団法人日本病院会QI（Quality Indicator）プロジェクト参加
平成26年（2014年） 1月	次期総合医療情報システム（電子カルテシステム）稼動、頭・腹部系血管造影装置稼動
平成26年（2014年） 6月	内視鏡手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」稼動
平成26年（2014年） 8月	放射線治療棟建設工事竣工
平成27年（2015年） 3月	放射線治療用直線加速器（リニアック）稼動
平成29年（2017年） 2月	病院機能評価認定取得（3rdG：Ver.1.1）
平成29年（2017年） 4月	地方独立行政法人に移行、地方独立行政法人市立大津市民病院と名称変更
平成29年（2017年） 7月	小児科新生児室リニューアルオープン（別館3C病棟から本館5A病棟へ移転）
平成30年（2018年） 2月	80列CT稼働（CT室2）
平成30年（2018年） 3月	320列CT稼働（CT室1）
平成30年（2018年） 7月	病院ホームページ全面リニューアル
平成30年（2018年）11月	関西初「トータルリフトベッド（立位のとれるベッド）」を設置した新ICU稼働（6床から8床へ2床増床）
令和2年（2020年）12月	感染症ER開設

市立大津市民病院歴史パネル展 ～地域とともに 今から未来～

市民病院120年（2019年時点）の歴史と懐かしい大津の風景のパネルを、ホスピタルギャラリー（本館と別館をつなぐ1階の廊下）に展示しています。

これからも「市民とともにある健康・医療拠点」であり続けるために、プロアクティブな視点から持続可能な病院づくりに努めます。

昭和28年（1953年）4月に名称変更された国民健康保険直営大津市民病院（大津市歴史博物館蔵）
出典：「大津の展望　昭和29年版」
（昭和30年（1955年）1月10日発行）
大津市公報（大津市市政情報課保存）

昭和41年（1966年）から43年（1968年）にかけて、におの浜埋立地上空から滋賀県立琵琶湖文化館、浜大津方向を望む。
（大津市歴史博物館蔵）

昭和40年代、上空から本宮に新築された大津市民病院、浜大津方向を望む風景（大津市広報課保存）
出典：市民病院35周年記念誌

ACCESS

◆電車でお越しの場合

JR膳所駅、京阪膳所駅より徒歩約10分

◆バスでお越しの場合

JR大津駅より約10分（国道経由）
「大津市民病院前」下車

◆車でお越しの場合

名神高速道路大津インターより約5分

地方独立行政法人
市立大津市民病院
Otsu City Hospital

大津市本宮二丁目9番9号（〒520-0804）
TEL：077-522-4607 FAX：077-521-5414
https://och.or.jp/